

学校教育の推進について

【学校教育の推進状況について】

まず「教育委員の活動」についてでありますが、今年度2回目の学校訪問を2月13日・14日の二日間で行い、授業参観や施設を視察したほか、今年度の学校・園の経営の推進状況について懇談し、理解を深めるとともに、今後の取組について指導・助言してまいりました。

【新冠中学校卒業生進路希望状況と平成26年度学級編制につきまして】

まず、進路希望状況ですが、進学希望者は50名で未定の者が1名となっております。

進学希望先は、静内高等学校23名、道内公立校8校へ21名、高等養護学校へ2名、私立高へ4名の希望で、3月1日現在、9名の合格が内定しております。



新冠中学校卒業式の様子

なお、3月5・6日の2日間で公立高校の学力検査が行われ、合格発表は3月17日の予定となっております。

次に学級編制についてですが、学級数では、新冠小学校の第1学年が2学級となり、また特別支援学級の知的学級の児童が7名となることにより教員数が1名増となることから、合わせて2名の教員が増となる見込みです。

新冠中学校は、特別支援学級が1学級減となる事により教員数が2名減となり、また生徒指導上の1名の特別な加配が無くなることから合わせて3名の教員が減となる見込みです。

児童数は、小学校全体で307名となり前年度より14名の減、中学校の生徒数は151名で6名の増となります。

【豊かな心身の育成について】

スケートリンクについて、今年も朝日小学校に開設し、体育の授業として13日間、678名の利用がありました。さらに1月中旬から休日の7日間の開放を行い、234名の利用がありました。

二つ目は、インフルエンザの状況であります。認定こども園ド・レ・ミでは、2月10日頃からインフルエンザによる欠席者が急速に増え、2月17日には36名の欠席者となりましたが、徐々に減少し、現在では、欠席者が無くなりインフルエンザは終息しております。

小・中学校では、断続的な欠席はありましたが、多くて2から3名の欠席であり、学級閉鎖などの影響はあまり

ありませんでした。三つ目は、体罰に係る実態調査についてです。

昨年に引き続き2月に文部科学省による、全国の小中学校を対象にした体罰の調査が実施されております。

今回の調査は、教職員のほか、児童生徒、保護者を対象とした調査となっておりませんが、体罰が疑われる事案はありませんでした。

いずれにしても、体罰は、いかなる理由があっても絶対に許されないものでありますので、今後とも様々な機会を通じて継続して指導してまいります。

四つ目は、新冠小学校における生徒指導の状況ですが、5年生におけるいじめの状況については、昨年12月に行政報告したとおり、現在、いじめは解消されておりませんが、再発防止に向け、今後も注意深く見守ってまいります。

また、教師の指導に合わない児童については、3学期に入り落ち着きがみられておりますので、今後も、児童の様子を注視しながら、改善に向けた取り組みを継続してまいります。

五つ目は、学校給食における異物混入についてであります。2月19日の新冠中学校の給食を食べる際に生徒が異物に気付き、口から出したところ8ミリメートル掛ける5ミリメートル大の異物があり、専門機関に調査を依頼したところ鶏の骨であることが判明しました。

混入の原因は、シチューの食材に使

活科授業の一環として実施された幼小連携事業、「わくわく祭り」に年長児が参加し、4月からの小学校就学に向け、それぞれ良い交流の場となりました。

今年度、135名でスタートしたド・レ・ミですが、現在、145名の入園児となっております。

また、平成26年度当初の入園児数は、現時点で126名を予定しております。



新冠小学校で行われた「わくわく祭り」

社会教育の推進について

【レ・コード館の活動について】

1月10日、本町において毎年冬季合宿を実施している札幌白石高校吹奏部と新冠中学校吹奏楽部との合同による「ニューイヤークンサート」を実施いたしました。

約200名の来場があり、全国大会出場実績の多い白石高校の演奏に町民

はもとより新冠中学校吹奏楽部員も大きな刺激を受けておりました。

2月4日には本年で3年目となります出張レコードコンサートを札幌市資料館において実施しております。札幌雪祭り初日、大通りに施設があることから、来場者が多く、レコード音楽を楽しんでいたことともに、ビートルズのレコードを展示し、レ・コード館と新冠町を広くPRすることができました。

2月23日には昭和音楽大学とのパートナーシップコンサートを実施いたしました。昭和音楽大学金管五重奏団と新冠中学校吹奏楽部、静内高校吹奏楽部、合唱団ヴォールの出演により約250名の参加があり好評に終了することができました。

また、2月21日には、昭和音楽大学金管五重奏団によるアウトリーチコンサートを新冠小学校、朝日小学校それぞれで実施し、本物の楽器演奏を体で感じる貴重な体験となりました。

【社会教育に係る取組について】

2月2日「あなたのためのプラスワンセミナー」をレ・コード館において「ニヤゴのやさしさ、ティラノのおもいやり」と題し、著名な絵本作家である宮西達也氏の講演会を実施いたしました。全国的に知られる絵本作家であることから道内遠路からの参加者もあり約180名の参加があり好評に終了しております。

高齢者教育として実施しております「いきいき大学」では2月28日保健福祉

用されていた鶏も肉に付着していたものと考えられることから、納入業者に対し厳しく指導したとともに、今後の対応策について、納品段階でのチェック体制について万全を期すよう関係者に指導したところであります。

【教師の指導力と信頼される学校づくりについて】
教員の実践的指導力を身に付けることをねらいに今年度から実施している、現職教職員研修会の第4回目の研修講座を2月25日に実施しました。

今回は、青少年健全育成協議会の研修会に併せ、スマートフォンのおける危険性について、実践的な研修を行っております。

認定こども園ド・レ・ミの教育・保育について

家庭・地域と一体となって開かれた園づくりを目指した取組のひとつとして行っている保護者との個人面談を、2月10日から行いました。

今年度は、全ての保護者との面談を行い、園の様子や家庭での過ごし方などについて情報交換するなど、互いの共通理解が図られるよい機会となりました。

また、幼小連携の取組については、1月23日に朝日開拓婦人ホーム横の斜面を利用したソリスベリで朝日小学校1年生と年長児が交流を行ったほか、2月7日には、新冠小学校1・2年生の生

て行いました。町内小中学生より詩及び作文139点の応募があり厳正なる審査の結果、文芸賞5作品、特別賞2作品を表彰しております。

【社会体育の取組について】

3月4日、スポーツセンターにおいて認定こども園ド・レ・ミの年長児を対象にミニサッカー教室を行っております。様々な競技のボールを紹介するとともにミニサッカーの基礎的な技術、また、4月から小学校へ入学する心構えなどもスポーツとおし指導しております。



園児が参加したサッカー教室

【郷土資料館の取組について】

1月19日ふるさと再発見講座「野鳥観察に見る日高の自然環境」と題し、新冠川付近において実施致しました。

日高鳥類研究所の谷岡隆所長を講師として招き、17名の参加者は天然記念物であるオオワシやオジロワシを観察してその生態を通して日高の自然環境を学んでおります。